

はりきり過ぎて大騒ぎ。大いに湧いた'92ダートラ

CMSC島根

'92チャレンジカップダートトライアル

7月26日

7月26日、比由スポーツランド山陰にて、当クラブの主催による日本海シリーズ、'92CMSC島根チャレンジカップダートトライアルを開催しました。

当日は晴れて、まさにダート日和。にもかかわらずエントリー台数は40台あまりと、いまひとつ。最近、全体的にエントリーが少なくなったと言われるダートラですが、やはり今回の場合もご多分に漏れず……というところだったようです。それならば「手が上がるくらい長いコースに」ということにな

り、2分30秒〜3分程度のハイスピードコース(ストレートは500m!!)にしたのですが……。エントラントの皆さんは幾分はりきり過ぎた様子で、転倒するやら、突き刺さるやらの大騒ぎ。昼すぎには終了する予定が、結局15時頃までかかってしまいました。

そんな中でも、相変わらずの強さをみせたのがA-IIIのギャラン。オーバーオールウィナーもギャランが獲得するところとなりました。ラリーアート賞では、表彰者から思わず「これだから三菱車はやめられない!」との声も出て、エントリー台数は少なめだったものの、まずまずの大会だったようです。来年に向け、これからもクラブ員一同頑張ります。

(CMSC島根 北脇 幹人)



三菱車のエントリー、21台にのぼる大盛況!!

CMSC香川

'92CMSCダイヤスターラリー

8月29日

去る8月29日、Aクラス12台、Bクラス21台、Cクラス22台、計55台のエントリーを集めて、CMSC香川恒例のCMSCダイヤスターラリーが開催されました。当日は天気も良く、なかなかのレース日和。9時1分にスタート会場である空港グランドホテルから、ゼッケン1番が第1ステージへと向かいました。

第1ステージはSS3カ所を含む約80kmで、Aクラスはゼッケン9番ミニカダンガンZZ-4に乗る福原・加藤組がトップ、Bクラスはゼッケン33番ミラージュに乗る山本・森田組が三菱車のトップ、Cクラスではゼッケン53番ギャランVR-4に乗る岩根・岡田



ギャランVR-4の岩根・岡田組

組がトップとなっていました。

続く第2ステージは、SS4カ所を含む約70kmで行われ、トータルの結果はAクラスが1ステのアドバンテージを守りきった福原・加藤組のミニカダンガンZZ-4、Bクラスは山本・森田組のミラージュが3位、Cクラスは岩根・岡田組のギャランVR-4が2ス



ミニカダンガンZZ-4の福原・加藤組

テもトップで総合優勝して、三菱賞をものにしました。55台中、三菱車のエントリーが21台にのぼるという大盛況のうちに、お陰さまで無事ラリーを終えることが出来ました。

(CMSC香川 平尾 高王)

予想外のレース展開、気合いを入れて次回に期待!

ミラージュ東北第3戦

CMSC仙台 高橋 清

6月13、14日、仙台ハイランドのミラージュ東北第3戦に参加しました。予選の13日、天気は曇りながらコースはドライ。前回の第2戦で予選ポールポジションの東江選手が今回もポールを狙い、続いて今野選手が新しいエンジンと足まわりで東江選手を追うだろうというのが、レース前の周囲の予想でした。

9:52コースオープン。55分から15分間のタイムアタックが開始されましたが、意外に2台とも思うようにタイムがのびません。東江選手は3周目に2'10"455を出して14位、今野選手は4周目の2'12"760がベストラップで、22位という結果に終わりました。上位を狙っていたドライバーとスタッフは、他チームの想像以上の速さに驚くばかり。川崎選手の2'07、三浦選手の2'08などコースレコードを更新した車両が5台も出て、ただもう「すごい!!」の一言でした。

14日の決勝当日、天気予報では雨の確率30%ということでしたが、運良く朝から晴れて絶好のレース日和となりました。車両保管解除とともに車を持ち出し、再度ブレーキ、足まわりなど念入りにチェッ

ク。「どうか上位にあがれますように」と祈るような気持ちで、ボルトを一本一本増締めした私でした。

9:30コースイン。前回3位入賞の東江選手は何とかして前に出たいところ。前回9位の今野選手も、スタートをうまく攻めて前よりいい成績を残したいとかなり気合いが入っている様子です。そして、9:48、12周レースがスタートしました。

東江選手は1台抜いて13位をキープしましたが、今野選手がスタートで何台か抜いたものの1コーナーでスピン!「ドライバーの思うように足まわりがきまっていないのだろうか……」と気がかりです。周回を重ねるにしたがって、東江選手は6位まで浮上し、今野選手は18位をキープ。2台とも激しく他車と競り合いながらもゴール、無事に完走しました。

東江選手は今回表彰台を逃したものの6位入賞、今野選手は18位と予選より4台上がったもののタイムが予選より落ちてしまい、がっかりした様子でした。今回のレースは、予想外の結果に終わってしまいましたが、それだけに次回8月1日の第4戦に向けて、スタッフ一同やる気満々。セッティングのきまらなかったところをもっと煮つめて、次は上位を狙おうと誓い合ったのでした。「頑張るぞ!!」



6位入賞の東江選手



次回に期待の今野選手

ゲストの日下部保雄選手のアドバイスが大好評!

CMSC仙台
'92ステップUPジムカーナin SUGO
7月12日

7月12日、スポーツランドSUGO国際カートコースにて、'92ステップUPジムカーナを開催。午前中はSUGOジムカーナシリーズを見学し、午後からのスタートとしました。当初の予定より6台ほど少なく、最終的に94台のエントリーとなりましたが、ゲストとして迎えた日下部保雄選手のワンポイント・アドバイスをもらったことで、エントラントからも好評をいただくことができました。

ステップUPジムカーナのコース設定ということで、コーナーを多くフルターンやスラローム作り、ジムカーナの基本を学べるテクニカルコースとし



した。エントラントには、自分の技量を確認しながら思う存分楽しんでもらえたようで、主催した我々としてもほっとしました。今年でまだ2回目の主催ですが、今後はシリーズ戦も開催できるように、クラブ員一同、より一層頑張っていきたいと思ひます。
(CMSC仙台 渋谷和彦)



日下部選手からのアドバイスを活かして表彰台にノ

派手な前転宙返りに、思わずヒヤリ!の一幕も。

CMSC岩手
CMSCダートトライアル
7月26日

当クラブ主催による、'92ダートトライアルが、7月26日開催されました。前日はあいにくの小雨。大会当日は雨が上がり、暑くもなく、絶好のコンディションとなりました。

会場は岩手高原ダートトライアル場。一般のギャラリーもかなり多く、開始直前、思わず何の事故も起きないことを祈りました。AM9:30、予定通り第1号車がスタート。ところが、第1ヒートに於て1台が転倒し、さらに第2ヒートでは見事なまでの前転宙返りを披露してくれる車も出る始末。どうなることかと、我々もギャラリーも一瞬ヒヤッしましたが、幸いドライバーにはケガもなく、一同ホッ

胸をなでおろすという一幕もあったのです。

上空ではパラグライダーが悠々と舞い、地上のハードスポーツとすばらしいコントラストを見せる中、大過なくレースは終了。結果、C-3クラスでは、ギャランVR-4を駆る及川光政選手が1'17"39のタイムで、またDクラスでは、ミラージュの本多博雄選手が1'25"11のタイムで、それぞれ優勝。レディス部門で優勝を飾った小山美知子選手は、賞品の自転車を手に「商品は自転車というわさを聞いたので頑張りました。」とキュートな笑顔で一言。3年ぶりの主催ということで不安な要素も多かったのですが、皆様のご協力により、大会を無事終了することができました。ありがとうございました。賞品の豊富さにはちょっと自信があるCMSC岩手を、皆様どうぞ今後ともよろしく!!

(CMSC岩手 佐々木 学)



▲及川選手の走り

狙いどおりの自転車獲得▶



相変わらずの強さを見せる上位陣/山形・青森。

前回トップの山形は、現在までに911ポイントを獲得。相変わらずの強さを見せて、今期間も引き続き1位を走っています。ラリー・ドライバー部門、ラリー・ナビゲーター部門、スラローム部門、レース

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
山形	425	486			911
青森	318	390			708
群馬	360	192			552
香川	222	308			530
岐阜	253	195			448
札幌	242	199			441
帯広	275	155			430
岩手	149	144			293
島根	122	118			240
愛知	71	74			145
仙台	64	35			99
埼玉	64	19			83
大阪	46	30			76
栃木	42	24			66
千葉	4	62			66
福島	-	-			-

部門と、各部門とも上位に食い込む選手が輩出。圧倒的な選手層の厚さが、山形の強みと言えるでしょうか。続く青森も、708ポイントと大いに健闘しており、追い上げに懸命といったところ。まだまだこの

●ラリー・ドライバー部門

鷲見宏康	岐阜	64
渡辺俊昭	山形	44
対馬雅人	青森	42
勅使川原光	千葉	24
中田裕二	大阪	24
工藤長実	岩手	23
坂本均	青森	20
石田隆雄	青森	20
小林正夫	群馬	16
小出辰彦	愛知	14

●ラリー・ナビゲーター部門

朝岡達也	愛知	46
今野泰正	山形	44
対馬隆志	青森	42
山崎茂樹	青森	40
浅沼高典	岩手	23
金子誠司	群馬	16
因俊郎	愛知	14
中村洋次	帯広	9
金子友幸	栃木	6
工藤守	岩手	4

●ダートトライアル部門

宝田芳浩	札幌	172
高竹優之	香川	160
榊田正文	岐阜	116
杉山敏夫	山形	111
渡辺康	山形	91
及川光政	岩手	84
白井修	香川	78
近藤健司	香川	70
岩田恒廣	群馬	69
菅野茂	山形	68

●ジムカーナ部門

小館久	青森	120
佐々木健太郎	青森	90
赤羽政幸	山形	32
佐藤高広	仙台	12
杉坂啓一	島根	10
川名宏樹	仙台	9
古瀬浩美	島根	5
北脇幹人	島根	5
神田昌明	島根	3
植田智則	島根	3

●レース部門

小川日出生	山形	80
瀬在仁志	埼玉	14
川口法行	栃木	10
鈴木一彦	山形	10

●ポイントのつけ方

ポイント	リタイアには予選不通過も含む											
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下リタイア	
A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

A = ラリー………全日本選手権、JMRC地区最上級シリーズ
スラローム……全日本スピード行事選手権、地方スピード行事選手権、JMRCシリーズ
レース………全日本選手権、地方選手権、ミラージュカップ
B = それ以外の競技会